



## 家の外の備えをしましょう

家屋の被害を防ぐため、準備をしましょう

＜大雨が降る前、風が強くなる前に行いましょう＞

- ・窓や雨戸はしっかりと鍵をかけ、必要に応じて補強する
- ・側溝や排水口は掃除して水はけを良くしておく
- ・風で飛ばされそうなものは飛ばないように固定したり、家の中にしまう



## 家の中の備えをしましょう

家財の被害やライフラインの停止に備え、準備をしましょう

＜室内からの安全対策＞

- ・飛散防止フィルムなどを窓ガラスに貼ったり、万一の飛来物の飛び込みに備えてカーテンやブラインドをおろしておく

＜非常用品の確認＞

- ・懐中電灯、携帯用ラジオ、救急薬品、衣類、非常用食品、携帯ボンベ式コンロ、貴重品など  
(※あらかじめ非常用リュックサック等にまとめておくと便利です。チェックリストを活用ください。)

＜水の確保＞

- ・断水に備えて飲料水を確保するほか、浴槽に水を張るなどして生活用水を確保する。

□ 非常用リュックサック

### 食料品

- 飲料水
- 乾パンやクラッカーなど
- レトルト食品、缶詰
- 粉ミルク、哺乳瓶など

### 日用品

- ナイフ、缶切り
- 鍋や水筒
- 懐中電灯
- ラジオ
- 電池・携帯用充電器
- ロープ
- マッチやライター
- 使い捨てのカイロ
- ティッシュなど
- 筆記用具
- ごみ袋
- 体温計

### 衣服

- 下着
- タオル
- 寝袋
- 雨具
- 軍手
- 靴

### 医薬品等

- 救急医薬品
- 常備薬
- マスク
- 消毒液
- 紙おむつ
- 生理用品

### 貴重品

- 現金(小銭も)
- 預金通帳など
- 印鑑
- 健康保険証など
- 身分証明書





## 車も避難させましょう

車の保管場所が浸水する場合があります。安全な高台等に移動させて保管しましょう



## 車の運転時には注意しましょう

不要不急の運転は控え、車を運転する場合は以下の点に注意しましょう

- ・走行中に強風でハンドルを取られたり、ガラスが割れる恐れがあるため、速度を落として十分に注意する
- ・アンダーパス（立体交差道路のひとつ）や高低差のあるガード下など、水がたまりやすい場所には絶対入らずに迂回する  
（※冠水してしまった場合は、エンジンをかけずにディーラーや修理工場へ相談する）
- ・橋の上、トンネルの出入口、沿岸沿い、山間部の谷間、ビル街は強風になりやすいので注意する



## 避難場所を確認しましょう

避難時にあわてないように、事前に避難場所を確認しましょう

<避難場所の確認>

- ・学校や公民館など避難場所として指定されている場所への避難所経路を確認しておく
- ・普段から家族で避難場所や連絡方法などを話しておく
- ・避難するときは、持ち物を最小限にして、両手が使えるようにしておく

※十分堅牢なマンション等の上層階に住んでいる場合は自宅に留まり安全確保することも可能です



## 住んでいる場所の危険度をしらべよう

地域でどのような災害が起きやすいか確認しましょう

<国土交通省や地域の防災担当が発信している防災情報の確認>

- ・ハザードマップポータルサイト(国土交通省) <https://disaportal.gsi.go.jp/>

※ハザードマップは浸水や土砂災害が発生するおそれの高い区域を着色した地図です  
着色されていないところも、周りと比べて低い土地や崖のそばなどは災害が起こる可能性があります